

教科	国語	年度	平成31年度
科目名	国語総合	学科年	普通科 1年
		履修単位	5単位

1. 学習の到達目標
- ・中学校での学習をふまえ、高等学校での国語の学習の基礎を固める。
 - ・近代以降の文章を叙述に即して的確に読み取る力を養うとともに、思考力を伸ばし視野を広げる。
 - ・さまざまな文章の読み比べを通して効果的な表現の仕方を学び、伝え合う力・感受性を高める。
 - ・古典の鑑賞を通じて、日本の伝統と文化に対する関心と理解を深め、人間性を豊かにするとともに国際社会で活躍するための基礎力を養成する。
 - ・古典学習を通じて、言語文化への興味・関心を広げ、言語生活を豊かにする。
2. 教科書・副教材等
- 教科書：『新探求国語総合 現代文・表現編』 『新探求国語総合 古典編』（桐原書店）

○現代文 ワーク：『力をつける現代文ステップ1』（数研出版）
 ワーク：『進研ウィンステップ現代文1』（ラーンズ）
 漢字：『意味から学ぶ頻出漢字3000』（第一学習社）

○古典 古文単語：『古文単語330』（いいずな書店）
 文法：『新しい古典文法（四訂新版）』（桐原書店）
 句法：『必携新明説漢文』（尚文出版）
 ワーク：『基礎古典（古文・漢文）』（尚文出版）
 ワーク：『進研ウィンステップ古典1』（ラーンズ）
 辞書：『新全訳古語辞典』（大修館書店）

○共通 『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

3. 学習上の留意点
- ・必ず予習をして授業に参加すること。
 - ・授業に際しては板書事項以外に、必要と思われることを自ら判断しノートを取ること。
 - ・疑問点は必ずその日のうちに質問して解決すること。
 - ・授業用ノートは現代文1冊（文字数の分かりやすいもの。方眼ノートなど）と古典（古文・漢文共用でよい）1冊の、合わせて2冊用意すること。
 - ・基礎確認や新聞スクラップ、読書記録などのための家庭学習ノートを用意すること。

4. 評価

評価の観点				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

上記の事項のうち、「関心・意欲・態度」は授業および定期考査や小テストの状況で、「話す・聞く能力」「読む能力」は主に授業を通じて、「書く能力」と「知識・理解」は主に定期考査と小テストの状況で評価し、点数の配分は定期考査8割、小テストと授業の取り組み（予習・復習を含む）とで2割とする。なお、課題考査も定期考査と同等に扱う。

5. 担当者から一言

高等学校の国語では、自ら考えること・自ら調べることがとても大切です。その上で積極的な姿勢で授業に臨めば、学習も深化していきます。人は言葉を使ってものごとを考えます。言葉の力を鍛えることは、すべての学習につながります。この一年は基礎固めの年です。基礎がしっかりしてこそ揺るぎない確かなものが完成します。一日一日を大切に、しっかりと学習に取り組んでいきましょう。

学習計画表 (1年 国語総合・現代文)

期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考査	
一学期	4	旅する力	<ul style="list-style-type: none"> ・随想の基本的な読み方を習得する。 ・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ・旅の話題だけにとどまらない筆者のメッセージを捉え、これから先の人生について思いを巡らせる。 	8	中間考査	
	5	評論解析A① マヨネーズの穴から	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 	1		
		羅生門	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・下人の出した結論を、人間の心の問題、自分自身の生き方の問題として捉え直す。 	8	期末考査	
	6	評論解析A② 環境世界	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 	1		
	7	言葉の力	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 	5	二期 考査 中間	
夏休み		家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題考査	
二学期	9	夢十夜 (第一夜)	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方を習得する。 ・登場人物の心理や行動を的確に読み取り、作品の主題について考えを深める。 ・「夢」の世界の記述の特徴を読み取りながら、そこに込められた重層的な意味を理解し、小説の鑑賞力を高める。 	4	中間考査	
		わかろうとする姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「他者理解」というテーマについて自分の考えを深める。 	5		
	10	評論解析A③ 紫外線	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 	1		
		なぜ、多様性が必要か	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・生物多様性の必要性を理解する。 ・生命と環境のバランスをとるために必要なことについて、自分の考えを深める。 	10	期末考査	
	11	評論解析A④ 人類学から見た言語	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 	1		
	12	石を愛でる人	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方を習得する。 ・小説を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ・一人称小説の語り手と筆者の関係を意識しながら読み進め、表現や描写に込められた心情を読み取って、小説の鑑賞力を高める。 	6	学年 末考査	
冬休み		家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題考査	
三学期	1	歴史は「今・ここ・私」に向かつてはいない	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・評論として特徴的な語句の意味を確実に理解する。 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・歴史についての考え方を知り、自分の考えを深める。 	10	学年 末考査	
						2
	3	評論解析B②～④ 「ゆらぎ」「擬制から責任へ」 「アラビア語を学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・指示表現が指す内容を明らかにすることで、筆者の主要な見解を明確につかむ。 ・効果的な表現に込められた筆者の意図を汲み取り、主要な見解をつかむ。 ・本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 	3		
年間時数計		64時間 (55分授業)				

学習計画表 (1年 国語総合・古典)

学期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考查
一学期	4	古文入門 『宇治拾遺物語』 ・検非違使忠明のこと 仮名遣い/動詞	・古典が現代の感覚に通じる面と今日的なものからかけ離れた面との両面を有する文化遺産であることを理解する。 ・辞書を引き、口語訳する手順を学ぶ。 ・古典文法の概要を学び、動詞を習得する。	12	中間 考查
	5	漢文入門 漢文の基礎	・送り仮名・返り点・書き下し文を理解する。 ・助字・返読文字・再読文字を理解する。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法と訓読・書き下し文のきまりを理解する。	4	期末 考查
		故事成語 ・朝三暮四 疑問形	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深める。 ・疑問形を習得する。	4	
	6	随筆 『徒然草』 ・丹波に出雲といふ所あり 用言全般	・説話の展開や内容をまとめて話の面白さを理解する。 ・随筆の内容を理解して、人間に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・形容詞、形容動詞を中心に用言への理解を深める。	11	
	7	文法の要点1 助動詞	・助動詞の種類や活用、意味、接続を学ぶ。	7	二学期中間 考查
夏休み		家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
二学期	9	故事成語 ・塞翁馬 反語形	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解をさらに深める。 ・反語形を習得する。	5	中間 考查
		日記 『土佐日記』 ・門出 ・帰京 助動詞	・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。	10	
	10	物語 『伊勢物語』 ・東下り 和歌の修辭/助動詞	・重要古語や助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。 ・助動詞を習得する。	11	
	11	史伝 ・鶏鳴狗盜 使役形	・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わう。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 ・使役形を習得する。	6	
	12	説話 『十訓抄』 ・大江山 和歌の修辭/助詞・助動詞	・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。	4	学年末 考查
冬休み		家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
三学期	1	物語 『竹取物語』 ・なよ竹のかぐや姫 敬語/助詞・助動詞	・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・敬語の基本を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。	6	学年 末 考 査
		詩文 漢詩の修辭 文章 ・雑説	・唐詩を読み味わい、中国古典への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・近体詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	11	
	3	思想 『論語』 『孟子』	・日本に大きな影響を与えた中国の古代思想について学ぶ。 ・これまでに学んだ漢文訓読の知識を用いて口語訳する。 ・重要句形についておさらいする。	5	
年間時数計		96時間 (55分授業)			

教科	国 語	年 度	平成31年度
科目名	国 語 総 合	学 科 学 年	普通科学究コース 1年
		履修単位	5単位

1. 学習の到達目標
- ・中学校での学習をふまえ、高等学校での国語の学習の基礎を固める。
 - ・近代以降の文章を叙述に即して的確に読み取る力を養うとともに、思考力を伸ばし視野を広げる。
 - ・さまざまな文章の読み比べを通して効果的な表現の仕方を学び、伝え合う力・感受性を高める。
 - ・古典の鑑賞を通じて、日本の伝統と文化に対する関心と理解を深め、人間性を豊かにするとともに国際社会で活躍するための基礎力を養成する。
 - ・古典学習を通じて、言語文化への興味・関心を広げ、言語生活を豊かにする。

2. 教科書・副教材等 教科書：『新探求国語総合 現代文・表現編』 『新探求国語総合 古典編』（桐原書店）

○現代文 ワーク：『力をつける現代文ステップ1』（数研出版）
ワーク：『進研ウィンステップ現代文1』（ラーンズ）
漢字：『意味から学ぶ頻出漢字3000』（第一学習社）

○古典 古文単語：『古文単語330』（いいずな書店）
文法：『新しい古典文法（四訂新版）』（桐原書店）
句法：『必携新明説漢文』（尚文出版）
ワーク：『基礎古典（古文・漢文）』（尚文出版）
ワーク：『進研ウィンステップ古典1』（ラーンズ）
辞書：『新全訳古語辞典』（大修館書店）

○共通 『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

3. 学習上の留意点
- ・必ず予習をして授業に参加すること。
 - ・授業に際しては板書事項以外に、必要と思われることを自ら判断しノートを取ること。
 - ・疑問点は必ずその日のうちに質問して解決すること。
 - ・授業用ノートは現代文1冊(文字数の分かりやすいもの。方眼ノートなど)と古典(古文・漢文共用でよい)1冊の、合わせて2冊用意すること。
 - ・基礎確認や新聞スクラップ、読書記録などのための家庭学習ノートを用意すること。

4. 評 価

評価の観点				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場にに応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

上記の事項のうち、「関心・意欲・態度」は授業および定期考査や小テストの状況で、「話す・聞く能力」「読む能力」は主に授業を通じて、「書く能力」と「知識・理解」は主に定期考査と小テストの状況で評価し、点数の配分は定期考査8割、小テストと授業の取り組み（予習・復習を含む）とで2割とする。なお、課題考査も定期考査と同等に扱う。

5. 担当者から一言

高等学校の国語では、自ら考えること・自ら調べることがとても大切です。その上で積極的な姿勢で授業に臨めば、学習も深化していきます。人は言葉を使ってものごとを考えます。言葉の力を鍛えることは、すべての学習につながります。この一年は基礎固めの年です。基礎がしっかりしてこそ揺るぎない確かなものが完成します。一日一日を大切に、しっかりと学習に取り組んでいきましょう。

学習計画表 (1年 国語総合・現代文)

学期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考査
一学期	4	旅する力	<ul style="list-style-type: none"> 随想の基本的な読み方を習得する。 随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 旅の話題だけにとどまらない筆者のメッセージを捉え、これから先の人生について思いを巡らせる。 	8	中間考査
	5	評論解析A① マヨネーズの穴から	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
		羅生門	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 下人の出した結論を、人間の心の問題、自分自身の生き方の問題として捉え直す。 	8	期末考査
	6	評論解析A② 環境世界	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
	7	言葉の力	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 	5	二期 考査
夏休み	家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。				課題考査
二学期	9	夢十夜 (第一夜)	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を習得する。 登場人物の心理や行動を的確に読み取り、作品の主題について考えを深める。 「夢」の世界の記述の特徴を読み取りながら、そこに込められた重層的な意味を理解し、小説の鑑賞力を高める。 	4	中間考査
		わかろうとする姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 「他者理解」というテーマについて自分の考えを深める。 	5	
	10	評論解析A③ 紫外線	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
		なぜ、多様性が必要か	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 生物多様性の必要性を理解する。 生命と環境のバランスをとるために必要なことについて、自分の考えを深める。 	10	期末考査
	11	評論解析A④ 人類学から見た言語	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 	1	
	12	石を愛でる人	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を習得する。 小説を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 一人称小説の語り手と筆者の関係を意識しながら読み進め、表現や描写に込められた心情を読み取って、小説の鑑賞力を高める。 	6	学年 末考査
冬休み	家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。				課題考査
三学期	1	歴史は「今・ここ・私」に向かつてはいない	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 評論として特徴的な語句の意味を確実に理解する。 論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 歴史についての考え方を知り、自分の考えを深める。 	10	学年 末考査
	2				
	3	評論解析B① グローバル化と「文脈」	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 接続表現から文脈を捉え、論理の展開や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
3	評論解析B②～④ 「ゆらぎ」「擬制から責任へ」 「アラビア語を学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 指示表現が指す内容を明らかにすることで、筆者の主要な見解を明確につかむ。 効果的な表現に込められた筆者の意図を汲み取り、主要な見解をつかむ。 本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 	3		
年間時数計	64時間 (55分授業)				

学習計画表 (1年 国語総合・古典)

学期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考查
一学期	4	古文入門 『宇治拾遺物語』 ・検非違使忠明のこと 仮名遣い/動詞	・古典が現代の感覚に通じる面と今日的なものからかけ離れた面との両面を有する文化遺産であることを理解する。 ・辞書を引き、口語訳する手順を学ぶ。 ・古典文法の概要を学び、動詞を習得する。	12	中間 考查
	5	漢文入門 漢文の基礎	・送り仮名・返り点・書き下し文を理解する。 ・助字・返読文字・再読文字を理解する。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法と訓読・書き下し文のきまりを理解する。	4	期末 考查
		故事成語 ・朝三暮四 疑問形	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深める。 ・疑問形を習得する。	4	
	6	随筆 『徒然草』 ・丹波に出雲といふ所あり 用言全般	・説話の展開や内容をまとめて話の面白さを理解する。 ・随筆の内容を理解して、人間に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・形容詞、形容動詞を中心に用言への理解を深める。	11	
	7	文法の要点1 助動詞	・助動詞の種類や活用、意味、接続を学ぶ。	7	二学期中間 考查
夏休み		家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
二学期	9	故事成語 ・塞翁馬 反語形	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解をさらに深める。 ・反語形を習得する。	5	中間 考查
		日記 『土佐日記』 ・門出 ・帰京 助動詞	・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。	10	
	10	物語 『伊勢物語』 ・東下り 和歌の修辭/助動詞	・重要古語や助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。 ・助動詞を習得する。	11	
	11	史伝 ・鶏鳴狗盜 使役形	・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わう。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 ・使役形を習得する。	6	
	12	説話 『十訓抄』 ・大江山 和歌の修辭/助詞・助動詞	・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。	4	学年末 考查
冬休み		家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
三学期	1	物語 『竹取物語』 ・なよ竹のかぐや姫 敬語/助詞・助動詞	・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・敬語の基本を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。	6	学年 末 考 査
		詩文 漢詩の修辭 文章 ・雑説	・唐詩を読み味わい、中国古典への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・近体詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	11	
	3	思想 『論語』 『孟子』	・日本に大きな影響を与えた中国の古代思想について学ぶ。 ・これまでに学んだ漢文訓読の知識を用いて口語訳する。 ・重要句形についておさらいする。	5	
年間時数計		96時間 (55分授業)			

教科	国語	年度	平成31年度
科目名	国語総合	学科年	食物科 1年
		履修単位	4単位

1. 学習の到達目標
- ・中学校での学習をふまえ、高等学校での国語の学習の基礎を固める。
 - ・近代以降の文章を叙述に即して的確に読み取る力を養うとともに、思考力を伸ばし視野を広げる。
 - ・さまざまな文章の読み比べを通して効果的な表現の仕方を学び、伝え合う力・感受性を高める。
 - ・古典の鑑賞を通じて、日本の伝統と文化に対する関心と理解を深め、人間性を豊かにするとともに国際社会で活躍するための基礎力を養成する。
 - ・古典学習を通じて、言語文化への興味・関心を広げ、言語生活を豊かにする。

2. 教科書・副教材等 教科書：『新探求国語総合 現代文・表現編』 『新探求国語総合 古典編』（桐原書店）

○現代文 ワーク：『力をつける現代文ステップ1』（数研出版）
 ワーク：『進研ウィンステップ現代文1』（ラーズ）
 漢字：『意味から学ぶ頻出漢字3000』（第一学習社）

○古典 古文単語：『古文単語330』（いっずな書店）
 文法：『新しい古典文法（四訂新版）』（桐原書店）
 句法：『必携新明説漢文』（尚文出版）
 ワーク：『基礎古典（古文・漢文）』（尚文出版）
 ワーク：『進研ウィンステップ古典1』（ラーズ）
 辞書：『新全訳古語辞典』（大修館書店）

○共通 『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

3. 学習上の留意点
- ・必ず予習をして授業に参加すること。
 - ・授業に際しては板書事項以外に、必要と思われることを自ら判断しノートを取ること。
 - ・疑問点は必ずその日のうちに質問して解決すること。
 - ・授業用ノートは現代文1冊（文字数の分かりやすいもの。方眼ノートなど）と古典（古文・漢文共用でよい）1冊の、合わせて2冊用意すること。
 - ・基礎確認や新聞スクラップ、読書記録などのための家庭学習ノートを用意すること。

4. 評価

評価の観点				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

上記の事項のうち、「関心・意欲・態度」は授業および定期考査や小テストの状況で、「話す・聞く能力」「読む能力」は主に授業を通じて、「書く能力」と「知識・理解」は主に定期考査と小テストの状況で評価し、点数の配分は定期考査8割、小テストと授業の取り組み（予習・復習を含む）とで2割とする。なお、課題考査も定期考査と同等に扱う。

5. 担当者から一言

高等学校の国語では、自ら考えること・自ら調べることがとても大切です。その上で積極的な姿勢で授業に臨めば、学習も深化していきます。人は言葉を使ってものごとを考えます。言葉の力を鍛えることは、すべての学習につながります。この一年は基礎固めの年です。基礎がしっかりしてこそ揺るぎない確かなものが完成します。一日一日を大切に、しっかりと学習に取り組んでいきましょう。

学習計画表 (1年 国語総合・現代文)

期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考査
一 学 期	4	旅する力	<ul style="list-style-type: none"> 随想の基本的な読み方を習得する。 随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 旅の話題だけにとどまらない筆者のメッセージを捉え、これから先の人生について思いを巡らせる。 	8	中間考査
	5	評論解析A① マヨネーズの穴から	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
		羅生門	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 下人の出した結論を、人間の心の問題、自分自身の生き方の問題として捉え直す。 	8	期末考査
	6	評論解析A② 環境世界	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
	7	言葉の力	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 	5	二 学 期 考 査 問 題
夏休み	家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。				課題考査
二 学 期	9	夢十夜 (第一夜)	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を習得する。 登場人物の心理や行動を的確に読み取り、作品の主題について考えを深める。 「夢」の世界の記述の特徴を読み取りながら、そこに込められた重層的な意味を理解し、小説の鑑賞力を高める。 	4	中間考査
		わかろうとする姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 「他者理解」というテーマについて自分の考えを深める。 	5	
	10	評論解析A③ 紫外線	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
	11	なぜ、多様性が必要か	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 生物多様性の必要性を理解する。 生命と環境のバランスをとるために必要なことについて、自分の考えを深める。 	10	期末考査
		評論解析A④ 人類学から見た言語	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 	1	
	12	石を愛でる人	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を習得する。 小説を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 一人称小説の語り手と筆者の関係を意識しながら読み進め、表現や描写に込められた心情を読み取って、小説の鑑賞力を高める。 	6	学 年 末 考 査
冬休み	家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。				課題考査
三 学 期	1	歴史は「今・ここ・私」に向かつてはいない	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を習得する。 評論として特徴的な語句の意味を確実に理解する。 論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 歴史についての考え方を知り、自分の考えを深める。 	10	学 年 末 考 査
	2				
	3	評論解析B②～④ 「ゆらぎ」「擬制から責任へ」 「アラビア語を学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得する。 指示表現が指す内容を明らかにすることで、筆者の主要な見解を明確につかむ。 効果的な表現に込められた筆者の意図を汲み取り、主要な見解をつかむ。 本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 	3	
年間時数計	64時間 (55分授業)				

学習計画表 (1年 国語総合・古典)

学期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考查
一学期	4	古文入門 『宇治拾遺物語』 ・検非違使忠明のこと 仮名遣い/動詞	・古典が現代の感覚に通じる面と今日的なものからかけ離れた面との両面を有する文化遺産であることを理解する。 ・辞書を引き、口語訳する手順を学ぶ。 ・古典文法の概要を学び、動詞を習得する。	8	中間 考查
	5	漢文入門 漢文の基礎	・送り仮名・返り点・書き下し文を理解する。 ・助字・返読文字・再読文字を理解する。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法と訓読・書き下し文のきまりを理解する。	3	期末 考查
		故事成語 ・朝三暮四 疑問形	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深める。 ・疑問形を習得する。	3	
	6	随筆 『徒然草』 ・丹波に出雲といふ所あり 用言全般	・説話の展開や内容をまとめて話の面白さを理解する。 ・随筆の内容を理解して、人間に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・形容詞、形容動詞を中心に用言への理解を深める。	7	
	7	文法の要点1 助動詞	・助動詞の種類や活用、意味、接続を学ぶ。	5	二学期中間 考查
夏休み		家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
二学期	9	故事成語 ・塞翁馬 反語形	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解をさらに深める。 ・反語形を習得する。	3	中間 考查
		日記 『土佐日記』 ・門出 ・帰京 助動詞	・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。	7	
	10	物語 『伊勢物語』 ・東下り 和歌の修辭/助動詞	・重要古語や助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。 ・助動詞を習得する。	7	期末 考查
	11	史伝 ・鶏鳴狗盜 使役形	・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わう。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 ・使役形を習得する。	4	
	12	説話 『十訓抄』 ・大江山 和歌の修辭/助詞・助動詞	・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。	3	学年末 考查
冬休み		家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
三学期	1	物語 『竹取物語』 ・なよ竹のかぐや姫 敬語/助詞・助動詞	・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・敬語の基本を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。	4	学年 末 考 査
		詩文 漢詩の修辭 文章 ・雑説	・唐詩を読み味わい、中国古典への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・近体詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	7	
	3	思想 『論語』 『孟子』	・日本に大きな影響を与えた中国の古代思想について学ぶ。 ・これまでに学んだ漢文訓読の知識を用いて口語訳する。 ・重要句形についておさらいする。	3	
年間時数計		64時間 (55分授業)			

教科	国語	年度	平成31年度
科目名	国語総合	学科年	音楽科 1年
		履修単位	4単位

1. 学習の到達目標
- ・中学校での学習をふまえ、高等学校での国語の学習の基礎を固める。
 - ・近代以降の文章を叙述に即して的確に読み取る力を養うとともに、思考力を伸ばし視野を広げる。
 - ・さまざまな文章の読み比べを通して効果的な表現の仕方を学び、伝え合う力・感受性を高める。
 - ・古典の鑑賞を通じて、日本の伝統と文化に対する関心と理解を深め、人間性を豊かにするとともに国際社会で活躍するための基礎力を養成する。
 - ・古典学習を通じて、言語文化への興味・関心を広げ、言語生活を豊かにする。
2. 教科書・副教材等
- 教科書：『新探求国語総合 現代文・表現編』『新探求国語総合 古典編』（桐原書店）

○現代文 ワーク：『力をつける現代文ステップ1』（数研出版）
 ワーク：『進研ウィンステップ現代文1』（ラーンズ）
 漢字：『意味から学ぶ頻出漢字3000』（第一学習社）

○古典 古文単語：『古文単語330』（いいずな書店）
 文法：『新しい古典文法（四訂新版）』（桐原書店）
 句法：『必携新明説漢文』（尚文出版）
 ワーク：『基礎古典（古文・漢文）』（尚文出版）
 ワーク：『進研ウィンステップ古典1』（ラーンズ）
 辞書：『新全訳古語辞典』（大修館書店）

○共通 『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

3. 学習上の留意点
- ・必ず予習をして授業に参加すること。
 - ・授業に際しては板書事項以外に、必要と思われることを自ら判断しノートを取ること。
 - ・疑問点は必ずその日のうちに質問して解決すること。
 - ・授業用ノートは現代文1冊(文字数の分かりやすいもの。方眼ノートなど)と古典(古文・漢文共用でよい)1冊の、合わせて2冊用意すること。
 - ・基礎確認や新聞スクラップ、読書記録などのための家庭学習ノートを用意すること。

4. 評価

評価の観点				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

上記の事項のうち、「関心・意欲・態度」は授業および定期考査や小テストの状況で、「話す・聞く能力」「読む能力」は主に授業を通じて、「書く能力」と「知識・理解」は主に定期考査と小テストの状況で評価し、点数の配分は定期考査8割、小テストと授業の取り組み（予習・復習を含む）とで2割とする。なお、課題考査も定期考査と同等に扱う。

5. 担当者から一言

高等学校の国語では、自ら考えること・自ら調べることがとても大切です。その上で積極的な姿勢で授業に臨めば、学習も深化していきます。人は言葉を使ってものごとを考えます。言葉の力を鍛えることは、すべての学習につながります。この一年は基礎固めの年です。基礎がしっかりしてこそ揺るぎない確かなものが完成します。一日一日を大切に、しっかりと学習に取り組んでいきましょう。

学習計画表 (1年 国語総合・現代文)

期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考査
一 学 期	4	旅する力	<ul style="list-style-type: none"> ・随想の基本的な読み方を習得する。 ・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ・旅の話題だけにとどまらない筆者のメッセージを捉え、これから先の人生について思いを巡らせる。 	8	中間 考査
	5	評論解析A① マヨネーズの穴から	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
		羅生門	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・下人の出した結論を、人間の心の問題、自分自身の生き方の問題として捉え直す。 	8	期末 考査
	6	評論解析A② 環境世界	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
	7	言葉の力	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 	5	二 学 期 考 査 問 題
夏休み	家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。				課題考査
二 学 期	9	夢十夜 (第一夜)	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方を習得する。 ・登場人物の心理や行動を的確に読み取り、作品の主題について考えを深める。 ・「夢」の世界の記述の特徴を読み取りながら、そこに込められた重層的な意味を理解し、小説の鑑賞力を高める。 	4	中間 考査
		わかろうとする姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「他者理解」というテーマについて自分の考えを深める。 	5	
	10	評論解析A③ 紫外線	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 	1	
	11	なぜ、多様性が必要か	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・生物多様性の必要性を理解する。 ・生命と環境のバランスをとるために必要なことについて、自分の考えを深める。 	10	期末 考査
		評論解析A④ 人類学から見た言語	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 	1	
	12	石を愛でる人	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方を習得する。 ・小説を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ・一人称小説の語り手と筆者の関係を意識しながら読み進め、表現や描写に込められた心情を読み取って、小説の鑑賞力を高める。 	6	学 年 末 考 査
冬休み	家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。				課題考査
三 学 期	1	歴史は「今・ここ・私」に向かつてはいない	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・評論として特徴的な語句の意味を確実に理解する。 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・歴史についての考え方を知り、自分の考えを深める。 	10	学 年 末 考 査
	2				
	3	評論解析B②～④ 「ゆらぎ」「擬制から責任へ」 「アラビア語を学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・指示表現が指す内容を明らかにすることで、筆者の主要な見解を明確につかむ。 ・効果的な表現に込められた筆者の意図を汲み取り、主要な見解をつかむ。 ・本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 	3	
年間時数計	64時間 (55分授業)				

学習計画表 (1年 国語総合・古典)

学期	月	学習内容	学習のねらい	時数	考查
一学期	4	古文入門 『宇治拾遺物語』 ・検非違使忠明のこと 仮名遣い/動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・古典が現代の感覚に通じる面と今日的なものからかけ離れた面との両面を有する文化遺産であることを理解する。 ・辞書を引き、口語訳する手順を学ぶ。 ・古典文法の概要を学び、動詞を習得する。 	8	中間 考查
	5	漢文入門 漢文の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名・返り点・書き下し文を理解する。 ・助字・返読文字・再読文字を理解する。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法と訓読・書き下し文のきまりを理解する。 	3	期末 考查
		故事成語 ・朝三暮四 疑問形	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深める。 ・疑問形を習得する。 	3	
	6	随筆 『徒然草』 ・丹波に出雲といふ所あり 用言全般	<ul style="list-style-type: none"> ・説話の展開や内容をまとめて話の面白さを理解する。 ・随筆の内容を理解して、人間に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・形容詞、形容動詞を中心に用言への理解を深める。 	7	
	7	文法の要点1 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の種類や活用、意味、接続を学ぶ。 	5	二学期中間 考查
夏休み		家庭学習により、1学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
二学期	9	故事成語 ・塞翁馬 反語形	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解をさらに深める。 ・反語形を習得する。 	3	中間 考查
		日記 『土佐日記』 ・門出 ・帰京 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。 	7	
	10	物語 『伊勢物語』 ・東下り 和歌の修辭/助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・重要古語や助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。 ・助動詞を習得する。 	7	
	11	史伝 ・鶏鳴狗盜 使役形	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わう。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 ・使役形を習得する。 	4	
	12	説話 『十訓抄』 ・大江山 和歌の修辭/助詞・助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・和歌の修辭技法を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。 	3	学年末 考查
冬休み		家庭学習により、2学期の学習事項の定着及び応用力を身につける。			課題 考查
三学期	1	物語 『竹取物語』 ・なよ竹のかぐや姫 敬語/助詞・助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・重要古語や助詞・助動詞の働きに注意して口語訳する。 ・敬語の基本を理解する。 ・人物の心の動きを読み取る。 	4	学年 末 考 査
		詩文 漢詩の修辭 文章 ・雑説	<ul style="list-style-type: none"> ・唐詩を読み味わい、中国古典への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・近体詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。 	7	
	3	思想 『論語』 『孟子』	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に大きな影響を与えた中国の古代思想について学ぶ。 ・これまでに学んだ漢文訓読の知識を用いて口語訳する。 ・重要句形についておさらいする。 	3	
年間時数計		64時間 (55分授業)			